



「冬の日本海と米山」
柏崎市宮川

- 新年のご挨拶
- 6号機において、当社社員・協力企業社員が合同で現場の状態を確認する「ワークダウン活動」をおこないました[発電所の一員として]
- おしえて!エコロン ● 皆さまの声から改善しました ● サービスホール1月の催し

新年のご挨拶

柏崎刈羽原子力発電所長の稲垣武之です。

2025年11月に花角新潟県知事が示されたご判断に対して、12月の新潟県議会において様々なご議論をいただき、花角知事を信任する旨の決議がおこなわれました。

また、花角知事から当社に対して、発電所の運営について安全最優先の取り組みを行動と実績で示すよう要請をいただいております。

柏崎刈羽原子力発電所の安全を預かる発電所長として、大変、厳粛に受け止めており、身が引き締まる思いです。



これらを踏まえ、当社は、12月24日に6号機の使用前確認変更申請書を原子力規制委員会に提出いたしました。

原子力規制委員会から承認が得られたのち、原子炉を起動し、実際の蒸気を使用した状態で設備の健全性確認を進めてまいります。

原子炉を起動するのは約14年ぶりとなります。これまで以上に緊張感を持って、一つひとつの工程で慎重に確認をおこない、その中で何かあれば関係者で協議の上、適切に対処してまいります。

安全の追求と信頼を得る取り組みにゴールはありません。

私としては、この度の申請が運転に向けたスタートと認識しております。

福島第一原子力発電所の事故を経験した者として、安全について常に問いかける姿勢を忘れることなく、柏崎刈羽原子力発電所で働く全ての方とワンチームになり、今一度、気を引き締めて、安全性の向上を追求し続けていく所存です。

また、そうした取り組みを、新潟県の皆さまに分かりやすく丁寧にお伝えし、皆さまから信頼いただける、地域に根差した発電所となれるよう、行動と実績で示し続けてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

【個人の目標】

去年は、刈羽三山のうち、まだ登頂していない「黒姫山」「八石山」に登ることを目標にしましたが、業務の関係から挑戦することができませんでした。

今年こそは、発電所が起動したのちに登頂を目指したいと思っています。

原子力・立地本部長の福田俊彦です。

私が就任し柏崎市内で勤務を始めてから約3年半が経ちました。

2025年も、発電所の現場を回り、社員やパートナー企業との対話に努めてまいりました。

あいさつ運動などの取り組みにより、発電所内のコミュニケーションが格段に向上していると実感しています。

また、休日含め、コミュニケーションブースや、地域のお祭り、清掃活動などにも参加させていただき、地域の皆さまから多くのお声を頂戴しました。

引き続き、地域の皆さまのご意見やご疑問を受け止め、広く皆さまに発電所の状況をお伝えするとともに、運営改善に活かしてまいります。

さらに、本社機能の柏崎市内への移転に向けて、2026年度中の竣工を目指して新本社事務所の建設を着工しました。新事務所は、地域の皆さまとの共生の場にもなるよう、鋭意準備を進めております。

2026年も、本社員と発電所員がこの柏崎刈羽の地でワンチームとなり、まずは6号機を安全に運転するための準備を整えるとともに、緊急時対応の訓練などを積み重ね、発電所の安全性向上に一層取り組んでまいります。

原子力部門の責任者として、透明性の高い、実効性あるガバナンスを確立するとともに、地域に根差した運営を徹底し、信頼していただける原子力事業の実現を目指してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



【個人の目標】

昨年、柏崎刈羽地域の3つの大会「柏崎潮風マラソン」「柏崎マラソン」「刈羽さわやかマラソン」全てに出場するという目標は、悔しい事に2つの大会のみの出場となってしまいました。

今年は、アトム表紙に掲載された柏崎刈羽地域の名所旧跡巡りや、紹介された名店のグルメを楽しみながらトレーニングに励みたいと思っています。



6号機において、当社社員・協力企業社員が合同で現場の状態を確認する「ウォークダウン活動」をおこないました。

「ウォークダウン活動」は、普段と違う現場や設備を、運転部門、保全部門、協力企業の皆さんがワンチームで確認する活動です。それぞれ異なる視点で、不具合の見落としがないかなど一つひとつ確認しています。今回は活動に参加した当社社員と協力企業社員に話を聞きました。

(2025年12月取材)

Profile

真壁 博幸

福島県出身。柏崎市在住。2001年入社。旧猪苗代電力所(現:浜通り電力所)に配属。電子通信設備の保守・運営業務をおこないその後、福島第一原子力発電所、浜通り電力所を経て2025年7月より現職に至る。
【柏崎市・刈羽村でオススメしたい場所】さすか／柏崎市内はどのお店も海の幸が豊富で新鮮です。特にこちらのお店では職場の仲間と一緒に地元の食材を堪能しています。



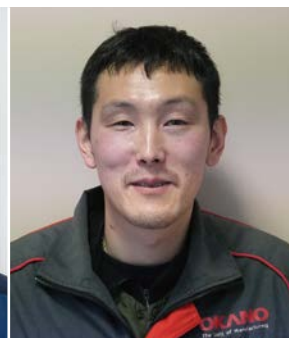
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
第二保全部 電子通信グループ

まかべ ひろゆき
真壁 博幸



第二運転管理部

かわばた たくや
川端 卓也



岡野バルブ製造株式会社
テクニカルサービス部
柏崎刈羽事業所 工事担当

あさか ちひろ
朝賀 千裕

川端 卓也

青森県出身。長岡市在住。2010年入社。柏崎刈羽原子力発電所に配属。定期事業者検査を担当し、現職に至る。
【柏崎市・刈羽村でオススメしたい場所】キッズマジック／施設が広く、屋内のため天候に左右されず利用でき助かります。遊具の種類も豊富なので子どもと一緒に楽しく遊べてリフレッシュできます。

朝賀 千裕

柏崎市出身。柏崎市在住。2009年入社。九州での研修を経て柏崎刈羽原子力発電所に配属。現場作業の管理を担当。2015年より現職に至る。
【柏崎市・刈羽村でオススメしたい場所】柏崎・夢の森公園／自然を満喫でき、ザリガニ釣りなどの自然体験もできるので、子どもと一緒に楽しめる場所です。

—今回のウォークダウン活動ではどのような視点を意識しましたか。

真壁 普段の業務で携わっている通信機器には、アンテナなどの大きなものもありますが、小さな設備が細かなところに設置されています。今回の活動でも、普段と同じ視点で現場の細かな部分に視野を向けるよう意識しました。

川端 機器が、点検・確認しやすい状態になっているか、操作性に問題がないかといった運転員の視点に加え、現場環境が5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)の観点で整っているかを意識しました。

朝賀 普段の作業ではバルブの分解点検などをおこなうため、作業エリアを確保し、分解した設備に異物が入らないよう管理を徹底しています。今回は普段と違う現場でしたが、同じような視点で現場の状態に問題がないかを確認しました。

〈ウォークダウン活動での気づきと改善の一例〉

- 機器に貼られた識別シールの劣化
→速やかに貼り替え
- 資材を仮固定するための番線の残置
→速やかに回収
- チェーンの巻上機の固定位置
→正しい位置に固定

—ウォークダウン活動を今後の業務にどのように活かしていきますか。

真壁 思っていた以上に、現場は整理・整頓されていました。安全性の観点からも、現場の環境を整えることの重要性を再認識しました。担当業務の現場でも5Sを意識し安全最優先で作業していきたいと思います。

川端 普段の業務では、様々な設備の点検・巡視をおこなっていますが、他部門の皆さんの確認する視点が新たな発見となりました。設備だけでなく、周りの環境に目を向けるなどの視点を取り入れていきたいと思います。

朝賀 業種や立場が違う方とコミュニケーションを取り、異なる視点で現場を見たことで、より多くの改善事項を得られました。この気づきを自分の業務で展開していきます。

—柏崎刈羽原子力発電所で働く一員として地域の皆さまへメッセージをお願いします。

真壁 今回のウォークダウン活動を通じ、違う目線で現場を確認することで新たな気づきを得ることができました。この経験を活かし、通信ネットワーク設備に支障が生じないよう管理し機能を維持することで、地域の皆さまの安心に繋がるよう努めてまいります。

川端 運転操作の訓練などを通じ、力量向上に取り組んでいますが、設備を健全な状態に維持するためには、継続的な管理・点検が不可欠です。所内の他部門や協力企業の皆さんとのウォークダウン活動を通じ、地域の皆さまに安心していただけるよう、より良い発電所作りに取り組んでまいります。

朝賀 今回の活動を通じて安全への意識がより高まり、普段の業務も身の引き締まる思いが強くなりました。地域の皆さまに安心していただけるよう、一つひとつ確実に点検をおこない、トラブル防止に努めてまいります。



ウォークダウン活動の事務局から一言

いがり たかのり
猪狩 孝則

第一保全部保全総括グループマネージャー 兼
第二保全部システムエンジニアリンググループ

現場を支える技術者同士、多くの目で起動に向けた準備が整った状態にあるかをしっかりと確認することができました。成果は安全、安心な発電所です。今後も他部門のメンバーとワンチームで現場をつくり、地域の皆さまの期待に応えられる発電所を目指してまいります。



おしえて! エコロン



Q 「ウォークダウン活動」以外に 現場の維持管理はどうしているの?

A 発電所員や協力企業の皆さんにより様々な点検・パトロールをワンチームでおこない、安全な現場となるよう維持管理しています。

【主な点検・パトロール】

●運転員による設備の点検、巡視

運転員が機器や計測データの状況を24時間体制で監視し、異常がないかを確認しています。確認においては、機器の音や振動などに普段と違いがないか、といった観点で異常やその兆候の把握に努めています。

2025年10月号の「発電所の一員として」で
ご覧いただけます



●安全推進協議会のパトロール

当社と協力企業の安全担当を中心に構成される「安全推進協議会」が、現場作業におけるリスクの洗い出しと改善のためにパトロールをおこなっています。

2025年9月号の「発電所の一員として」で
ご覧いただけます



●クールなでしこパトロール

事務職を含む女性社員が中心となり、「整理整頓」の観点でパトロールし、作業中のけがを未然に防ぐ改善をおこなっています。

2025年9月号の「発電所の一員として」で
ご覧いただけます



●防火パトロール

当社と協力企業の防災業務担当者が発電所構内を巡回し、火災の原因となる箇所がないかを確認しています。

2025年8月号の「発電所の一員として」で
ご覧いただけます



引き続き、日頃の点検・パトロールをおこない、安全性のさらなる向上に取り組んでまいります

※裏面のお名前、年齢、ご住所、電話番号を必ずご記入ください。
 なお、ご記入いただく内容については、お間違いないようお願いいたします。

サービスホール1月の催し

参加無料

工作教室

土・日・祝開催 9時～16時30分
※12時～13時を除く

3種類の工作をご用意♪

難易度に合わせて、小さなお子さまでも
楽しくチャレンジできます。



オニさんコマ



おすしやさん



ワクワクおみくじ



お問い合わせ／柏崎刈羽原子力発電所サービスホール TEL.0120-344-053(9時～17時)

料金受取人払郵便

郵便はがき

945-8790

柏崎局
承認

4062

差出有効期間
2026年11月30日
まで

(切手不要)

柏崎市青山町16番地 46

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行



ふりがな 年齢 歳

お名前 男・女・回答しない

〒

ご住所

電話番号

ご記入いただきました内容については、商品の発送、紙面づくり等に利用いたします。また、個人情報については適切に管理いたします。(2026年1月号)

東京電力ホールディングスYouTubeチャンネル

今月のおすすめ YouTube動画



技術・技能の向上を目指して ～放射線管理部門競技会～

柏崎刈羽、福島第一、福島第二
原子力発電所の放射線管理部門
が、汚染区域での除染作業の的
確さを競う合同競技会を開催し
ました。その様子を紹介してい
ます。ぜひ、ご覧ください!



ニュースアトムは、発電所広報施設(サービスホール、カムフィ、き・な・せ)に配置しています。ご自由にお持ちください。また、発電所ホームページでもご覧いただけます。



■今月号の表紙／「冬の日本海と米山」
撮影場所: 柏崎市宮川
撮影時期: 2023年2月



2026年1月11日発行

●編集発行責任者
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601
柏崎市青山町16番地46
☎0120-120-448
(平日9時～17時)

《検索》

柏崎刈羽原子力発電所

